

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,111,598株
株主総数	3,344名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
タイガー興産有限会社	1,965 千株	9.8%
タイガス取引先持株会	1,415	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,326	6.5
株式会社三菱UFJ銀行	979	4.9
澤田宏治	888	4.4
株式会社京都銀行	776	3.9
T.P.C持株会	671	3.3
タイガスポリマー従業員持株会	531	2.6
澤田裕治	480	2.4
三井住友信託銀行株式会社	474	2.4

(注) 持株比率は自己株式 (105,730株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

個人・その他	8,102,943株 (40.3%)
金融機関	5,421,819株 (27.0%)
その他国内法人	5,157,553株 (25.6%)
外国人	1,111,305株 (5.5%)
証券会社	212,248株 (1.1%)
自己名義株式	105,730株 (0.5%)

会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号	タイガスポリマー株式会社 TIGERS POLYMER CORPORATION
設立年月日	昭和23年12月20日
本店所在地	大阪府豊中市新千里東町一丁目4番1号
資本金	4,149,555,676円
従業員数	連結：2,101名 個別：582名
事業の内容	合成樹脂、ゴムおよびそれらの複合資材をもとに、ホース、ゴムシート、成形品、その他金型などの製造販売

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	渡辺 健太郎
代表取締役専務	澤田 宏治
常務取締役	木戸 俊明
常務取締役	高良 寛人
取締役	源田 晴信
取締役	植田 英司
取締役	山本 敬史 ※2019年9月30日退任
取締役(社外)	溝口 聖規
取締役(社外)	野尻 恭
監査役	田村 洋一
監査役(社外)	大川 治
監査役(社外)	薩摩 嘉則

株主メモ／ホームページのご案内

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 https://tigers.jp/ ただし、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先・連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 ※取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金のお支払い	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

WEBサイト

<https://tigers.jp/>



証券コード:4231

第78期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

株主・投資家の皆さまへ

TOP MESSAGE



代表取締役社長

渡辺 健太郎

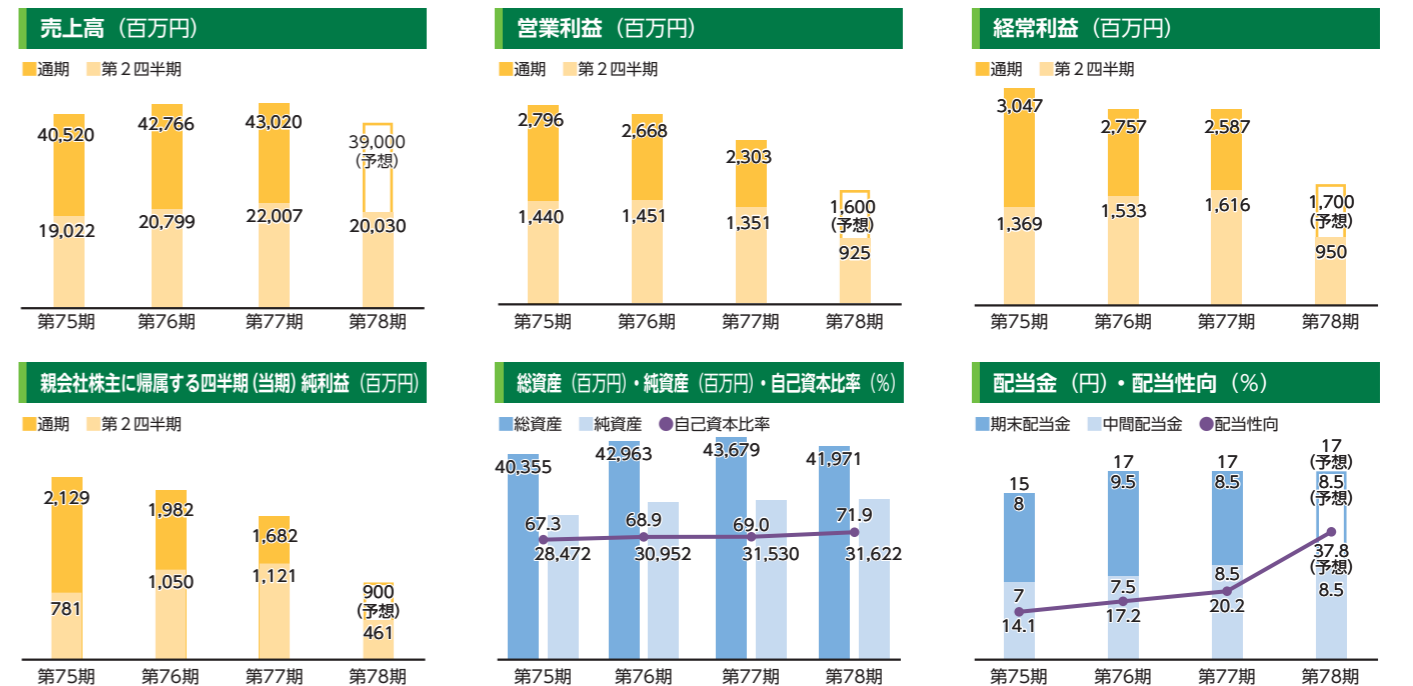
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第78期中間報告書(2019年4月1日から2019年9月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の経済情勢は、国内では、良好な雇用環境や各種政策の効果等により緩やかな回復基調で推移しましたが、海外では、米中貿易摩擦や世界経済の減速懸念等により先行きの不透明感が一層強まった状況でありました。

このような環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高200億30百万円(前年同四半期比19億76百万円 9.0%減少)、営業利益9億25百万円(前年同四半期比4億26百万円 31.5%減少)、経常利益9億50百万円(前年同四半期比6億65百万円 41.2%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億61百万円(前年同四半期比6億59百万円 58.8%減少)となりました。

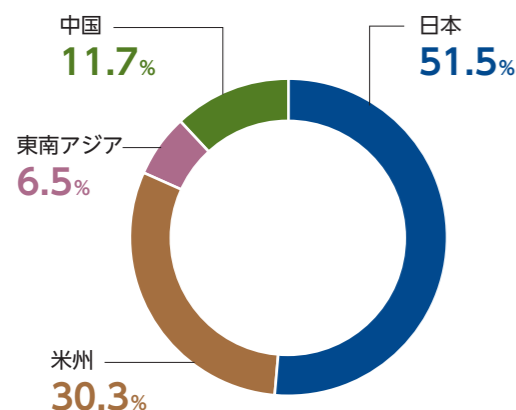
なお、中間配当金につきましては、1株につき8円50銭とさせていただきます。株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

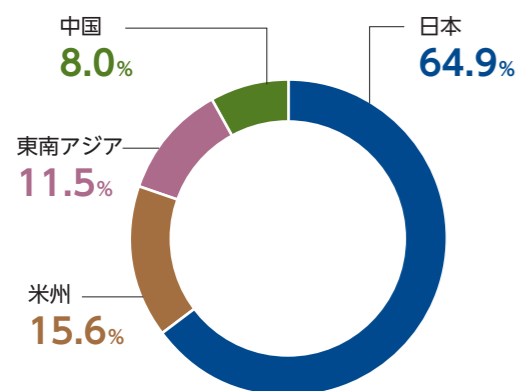


(注) 第77期より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」を適用しているため、第76期について、遡及処理後の数値を記載しております。

売上高構成比



営業利益構成比



(注) 地域別の売上高および営業利益は、地域間取引消去前のものであります。

日本

自動車部品の販売は増加しましたが、家電用ホース、産業用ホース、ゴムシートの販売が減少し、売上高は110億64百万円（前年同四半期比3億30百万円 2.9%減少）となりました。減収の影響により、セグメント利益（営業利益）は5億57百万円（前年同四半期比2億4百万円 26.8%減少）となりました。

米州

米国では、自動車部品は、収益認識に関する会計処理方法の変更により、得意先からの有償支給部品を売上原価から売上高の減額に変更したことに加え、販売が減少し、減収減益となりました。産業用ホースは、販売が増加し、増収増益となりました。メキシコでは、自動車部品の販売が増加し、増収増益となりました。その結果、売上高は64億96百万円（前年同四半期比14億54百万円 18.3%減少）、セグメント利益（営業利益）は1億33百万円（前年同四半期比1億42百万円 51.6%減少）となりました。

東南アジア

マレーシアでは、家電用ホースの販売が減少し、減収減益となりました。タイでは、自動車部品の販売が減少したことに加え、原材料費や労務費が増加し、減収減益となりました。その結果、売上高は14億3百万円（前年同四半期比81百万円 5.5%減少）、セグメント利益（営業利益）は99百万円（前年同四半期比99百万円 50.1%減少）となりました。

中国

自動車部品、家電用ホースともに販売が減少し、売上高は25億10百万円（前年同四半期比2億66百万円 9.6%減少）となりました。原材料費や諸経費の減少により、セグメント利益（営業利益）は68百万円（前年同四半期比14百万円 26.1%増加）となりました。

グローバルな生産・供給体制を構築

タイガースポリマーグループでは、国内外に生産拠点・販売拠点・開発拠点を展開し、日本国内の事業所および国内・海外の子会社との有機的なネットワークを形成することにより、グローバルな生産・供給体制を構築しています。

- 01 本社 02 東京支店/オートモーティブ事業室 東京
- 03 名古屋支店/オートモーティブ事業室 名古屋
- 04 大阪支店/オートモーティブ事業室 大阪 05 広島支店
- 06 福岡支店/オートモーティブ事業室 福岡 07 仙台営業所
- 08 栃木工場/オートモーティブ事業室 栃木 09 静岡工場 10 岡山工場
- 11 開発研究所 12 購買部 13 Tigerflex Corporation (米国)
- 14 Tigerpoly Manufacturing, Inc. (米国)
- 15 Tigerpoly Industria de Mexico S.A. de C.V. (メキシコ)
- 16 Tigerpoly (Thailand) Ltd. (タイ国)
- 17 Tigers Polymer (Malaysia) Sdn. Bhd. (マレーシア)
- 18 杭州泰賀塑化有限公司 (中国) 19 広州泰賀塑化有限公司 (中国)
- 20 武庫川化成株式会社 (兵庫県) 21 高槻化成株式会社 (大阪府)
- 22 タイガース工販株式会社 (兵庫県)



研究・開発

独自性の高い新製品の提供で、常に市場ニーズを先取り

当社は、新製品・改良製品の開発体制の強化を最重要課題に、基礎技術、商品開発技術、製造技術等の技術開発に力を注いでいます。材料から加工・金型・設備まで、ゴム・樹脂製品を開発するための基本技術を全て自社で保有しているため、開発スピードが速く、独自性の強い新製品を常に提供することで市場から高い評価を得ています。より高品質の製品をより効率的に生産するために、製造設備・生産技術の改良やコストダウンに取り組むとともに、ホース、ゴムシート、成形品の各部門にわたり、常に市場ニーズを先取りした研究開発に挑戦し続けています。

自動車部品	
	
バッテリー冷却システム	エアクリーナーホース
ゴムシート	
	
ウレタンゴム成形品	シリコンスポンジ
ホース	
	
産業用（土用耐摩ホース）	産業用（地中埋設管）

自動車部品		ホース	
			
エアクリーナー	HVACダクト	家電用（洗濯機用ホース）	家電用（エアコン用ホース）
ゴムシート			
			
エンジンカバー	ゴムシート	融雪ゴムマット	家電用（掃除機用ホース）